

＜対面式にて＞

2 か月遅れで新学期がスタートしました。やっと全校生徒が一同に揃いました。始業式、入学式では「何がやれるか。どうすればやれるか。」という話をしました。

3 か月前、この場で卒業式が行われました。新型コロナウイルスの影響で、保護者も来賓も出席できない中、在校生からの送辞も卒業生からの答辞もビデオに撮りました。卒業式の中で、前生徒会長から突然「答辞を読ませてください」という希望が出されました。周りの卒業生からも声が上がりました。たぶん事前に自分たちだけで相談していたのだと思います。もし事前に学校に相談されていれば、答えはNOです。本番で突然あがった声、そこには卒業生達の「感謝」の気持ちが込められていると感じました。自分のことだけを考えていたのでは起きない行動です。だからこそ人の心を動かししました。後でわかったのですが、体育館の外では保護者がその様子を聞いて応援していたそうです。

今日の対面式でも、今生徒会長が話したように、物理的には距離があっても、心の距離を近づけてください。十分な準備ができない中で、何ができるのかを考え、2、3年生の皆さんが努力していた姿を見えています。秋保中学校に引き継がれてきた伝統と雰囲気を入学生に伝えてください。

新入生の皆さんは、しっかりとそれを受け止めて、秋保中学校の一員としての自覚をしっかりともってほしいと思います。